



2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月13日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL <https://www.ya-man.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 貴三代
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績(2024年5月1日~2024年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	5,748	△40.3	194	△88.4	15	△99.1	△84	—
2024年4月期第1四半期	9,627	△17.6	1,674	△6.2	1,816	△13.7	1,142	△17.3

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 △78百万円(—%) 2024年4月期第1四半期 1,173百万円(△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	△1.54	—
2024年4月期第1四半期	20.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第1四半期	28,865	24,774	85.8
2024年4月期	29,090	25,113	86.3

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 24,774百万円 2024年4月期 25,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	4.25	—	4.75	9.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	4.25	—	4.75	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.3	2,500	500.6	2,200	117.6	1,550	289.1	28.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、様々な不安定要素に起因した販売の進捗を鑑み、また、中長期的な企業価値向上に向けて建設的な対話を促進するため、業績予想の公表は通期のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年4月期1Q	58,348,880株	2024年4月期	58,348,880株
2025年4月期1Q	3,327,698株	2024年4月期	3,327,668株
2025年4月期1Q	55,021,209株	2024年4月期1Q	55,021,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年9月13日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られる等、経済活動の正常化が緩やかに進みました。しかしながら、引き続き世界的な資源価格の上昇や原材料価格の高止まりは継続し、円安の進行、物価高騰に伴う消費者の購買意欲の変化等経済の先行きは不透明感を拭えないままとなっております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年6月に中期経営計画「Going Global Strategy」を公表し、2028年4月期の「売上高700億円」の達成に向けて、研究開発や海外への投資を行いながら、通販・店販・直販・海外における各販路の最適化を図ってまいりました。

海外部門で、中国国内の経済停滞等の影響を受けたことなどから、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,748百万円(前年同四半期比40.3%減)、営業利益は194百万円(前年同四半期比88.4%減)、経常利益は15百万円(前年同四半期比99.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円(前年同四半期は1,142百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)と、いずれも前年同四半期に及びませんでした。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通販部門

通販部門では、テレビ通販会社向けの販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売等を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、地上波テレビ通販は振るわなかったものの、ショッピング専門チャンネル及びカタログ通販会社向けの売上が堅調であったため、売上高は1,133百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。一方、セグメント利益は300百万円(前年同四半期比13.5%減)となりました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、2023年11月にオープンした銀座旗艦店や家電量販店を中心に売上が堅調であったことに加えて、新カテゴリーであるヘアケアやオーラルケアが伸長したことから、売上高は1,972百万円(前年同四半期比14.8%増)、セグメント利益は457百万円(前年同四半期比13.4%増)となりました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、オーラルケアが好調でしたが、リピート商材への投資が未だ先行していることから、売上高は1,650百万円(前年同四半期比21.7%減)、セグメント利益は421百万円(前年同四半期比42.8%減)となりました。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、RF規制によるRF搭載美容市場の混乱及び中国国内の経済停滞の影響を受け、売上高は943百万円(前年同四半期比79.7%減)、セグメント利益は273百万円(前年同四半期比86.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、28,865百万円となりました。商品及び製品の減少76百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少142百万円が、未収入金の減少203百万円及び貸倒引当金の減少220百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、4,090百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加81百万円、持分法適用に伴う負債の増加82百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、24,774百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上84百万円及び剰余金の配当261百万円による利益剰余金の減少345百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月14日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,605	16,722
受取手形、売掛金及び契約資産	4,834	4,691
商品及び製品	2,956	2,880
仕掛品	22	59
原材料及び貯蔵品	1,077	1,189
未収入金	506	303
未収還付法人税等	101	101
その他	892	595
貸倒引当金	△980	△760
流動資産合計	26,016	25,783
固定資産		
有形固定資産	899	923
無形固定資産	690	700
投資その他の資産		
投資有価証券	300	300
関係会社株式	107	103
その他	1,075	1,054
投資その他の資産合計	1,483	1,457
固定資産合計	3,073	3,081
資産合計	29,090	28,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	782	864
1年内返済予定の長期借入金	606	550
未払金	1,122	1,043
未払法人税等	18	70
賞与引当金	122	66
その他	475	665
流動負債合計	3,127	3,260
固定負債		
長期借入金	100	—
持分法適用に伴う負債	735	817
その他	14	13
固定負債合計	849	830
負債合計	3,976	4,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	24,688	24,342
自己株式	△2,887	△2,887
株主資本合計	25,047	24,701
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	66	73
その他の包括利益累計額合計	66	73
純資産合計	25,113	24,774
負債純資産合計	29,090	28,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	9,627	5,748
売上原価	3,590	2,339
売上総利益	6,037	3,408
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,154	1,297
貸倒引当金繰入額	—	△220
給料及び手当	366	392
賞与引当金繰入額	63	66
減価償却費	44	55
研究開発費	223	211
その他	1,510	1,410
販売費及び一般管理費合計	4,363	3,214
営業利益	1,674	194
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	21
為替差益	382	—
その他	0	1
営業外収益合計	395	23
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	—	71
持分法による投資損失	246	113
その他	1	13
営業外費用合計	253	201
経常利益	1,816	15
特別損失		
固定資産除却損	16	3
特別損失合計	16	3
税金等調整前四半期純利益	1,800	12
法人税等	657	97
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,142	△84
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,142	△84

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,142	△84
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	25	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	5	18
その他の包括利益合計	30	6
四半期包括利益	1,173	△78
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,173	△78
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	70百万円	110百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,104	1,719	2,109	4,648	9,580	46	9,627	—	9,627
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,104	1,719	2,109	4,648	9,580	46	9,627	—	9,627
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,104	1,719	2,109	4,648	9,580	46	9,627	—	9,627
セグメント利益	347	403	736	2,025	3,513	32	3,545	△1,870	1,674

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,870百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,880百万円、未実現利益の消去2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,133	1,972	1,650	943	5,701	47	5,748	—	5,748
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,133	1,972	1,650	943	5,701	47	5,748	—	5,748
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,133	1,972	1,650	943	5,701	47	5,748	—	5,748
セグメント利益	300	457	421	273	1,453	34	1,487	△1,293	194

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,293百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。